

既設鋼鉄道橋の合成構造化 によるリニューアル技術

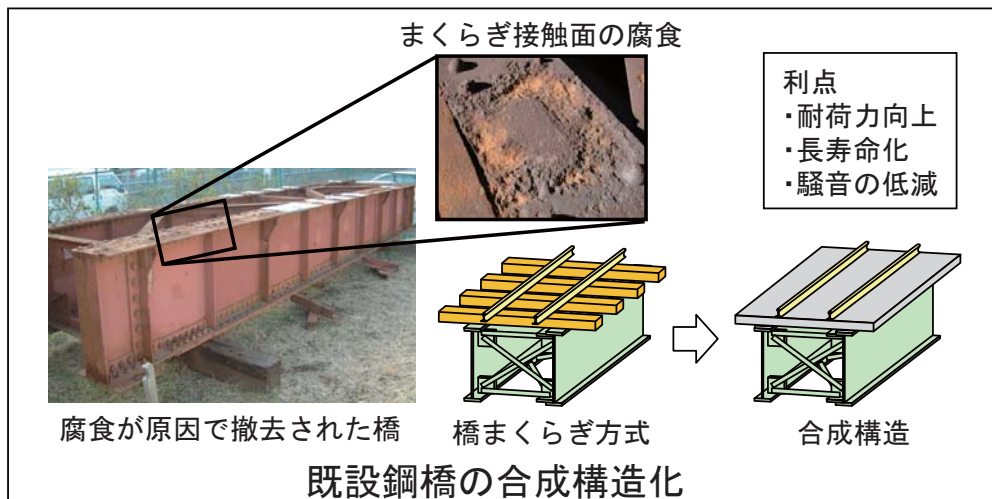
【概要】

鋼鉄道橋の半数以上が建設から60年を経ています。中には腐食による耐荷力の低下などが問題となっている橋もあります。そこで、既設鋼橋をコンクリート床版によって合成構造化するリニューアル工法を提案し、各種の検討によって本手法の適用性を確認しました。

【特徴】

耐荷力の低下した鋼桁をコンクリート床版と合成構造化することにより、耐荷力を向上し、橋の架け替えを不要にします。さらに、鋼桁に生じる疲労の抑制や腐食の防止により、橋を長寿命化し、維持管理を軽減できます。また、列車通過時の騒音低減効果も期待できます。

施工に際しては、プレキャストコンクリート床版を用いた急速施工法によって、床版パネルごとに施工を分割し、列車の運行に支障を与えずに合成構造化を行うことができます。



【用途】

腐食により耐荷力の低下した橋や、列車通過時の騒音が問題となっている橋に適しています。

既設鋼橋の架け替えに困難が伴う場所においても、本手法を用いれば、簡易に橋を再生することができます。

